

スポーツ技術習熟場面におけるローカル5Gを活用した大容量データフィードバックシステムの構築および学習効果の検証

健康・スポーツ科学センター
助教

—— 本山 清喬



研究シーズの紹介

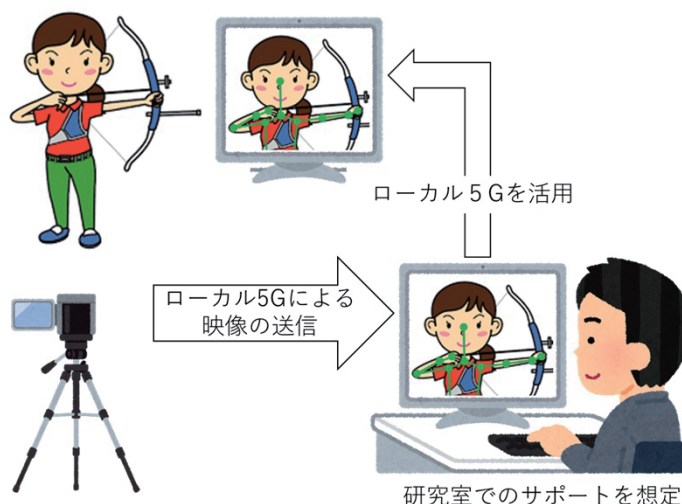
スポーツを行う上で技術の習熟は非常に重要である。その際、映像の確認や専門家の観察は重要なきっかけである。また、バイオメカニクス的手法を用いた動作分析は、情報量が多く、適切な指導が可能だが、フィードバックに要する時間が長くなる。現在はAIの進歩により、身体位置のデジタル化の時間が短縮されている。しかしながら、映像と分析結果を組

み合わせると大容量のデータとなることと、カメラとPCは独立して運用しているため、大容量データを通信する必要がある。この課題はローカル5Gを活用することで解決できる可能性があり、フィードバックシステムの構築し、その学習効果を検証した。



リアルタイム フィードバック

- 運動中の位置情報や関節角度を即時的に還元することが可能です。
- スポーツ現場と研究室を5Gで連携する技術です。



期待される活用シーン

● 選手



指導者がいない練習場面においても、自分の動きを客観的情報をもとに練習することが可能となる。



● 指導者



指導を行う上で、その場になくても、動作の確認が可能になり、量的データをもとに分析が可能となる。

